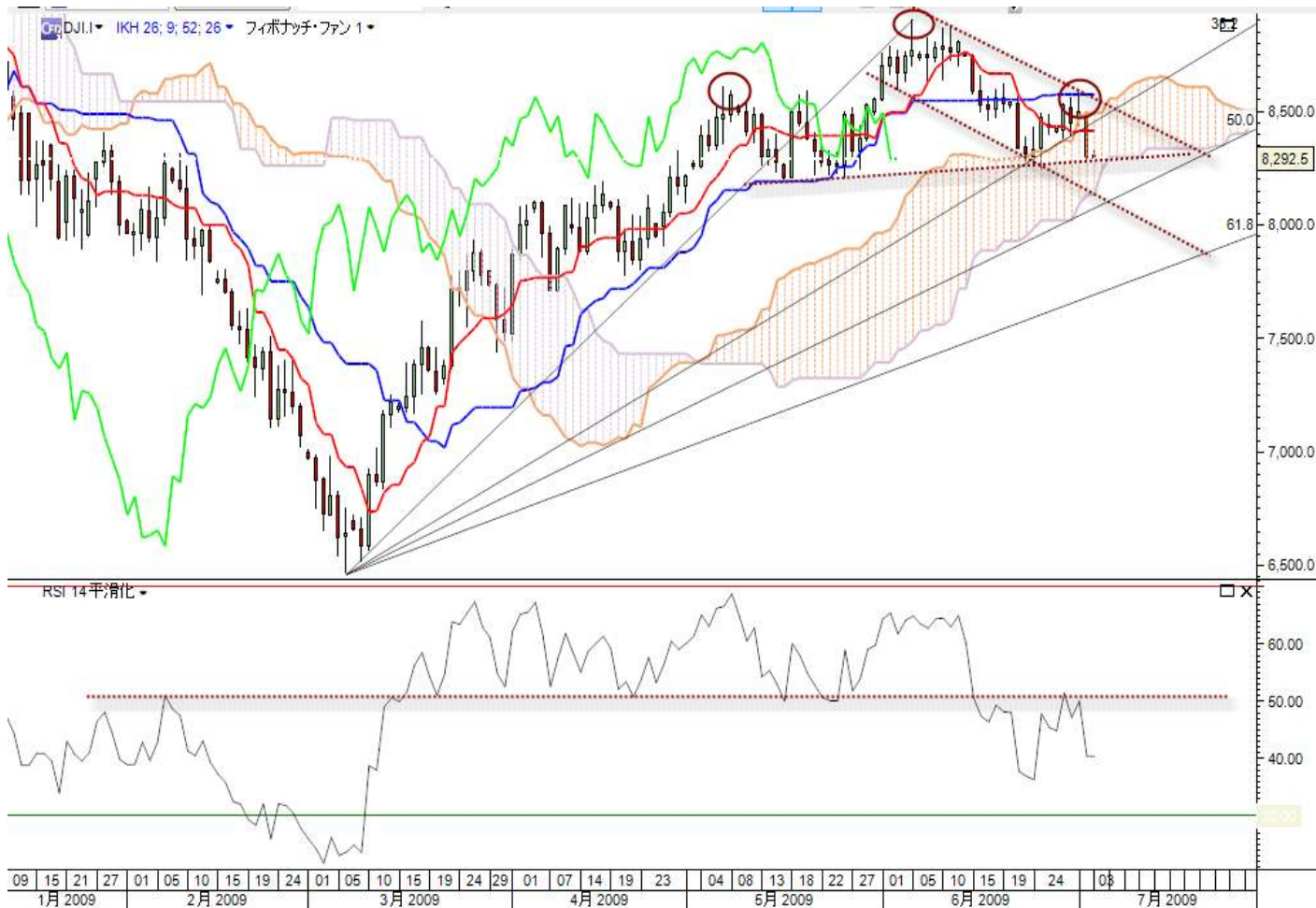


DJI. 日足



今週米ダウ指数は軟調の公算。先週に高値（8578.5）は丁度一目均衡表における基準線に押さえられ、金曜日の大幅下げを以って一段と頭打ちを証左した。先週に続き、すでに低下傾向にあった各主要 MA 線の角度は一層鋭くなり、3月末以来、初めて日々線を割り込んだ遅行線の傾向と相まって、下値志向の強さが窺える。

RSI（14）では、3月下旬以来（ブル基調）のレベルを割り込み、先週でも同レベルを上回れなかったことに鑑み、今週 40 レベルを割り込もう。そうであれば、日足では「三尊型」といったフォーメーションの形成、すなわち現在打診しているネックライン（約 8250）の割れを覚悟せざるを得ない。

一方、同フォーメーションの形成があっても、一直線に下落するとも想定しにくく、とりあえず「雲」下限の 8128 や 8070 など下値は今週のターゲットとして定めやすいのでは。8500 以上の回復は難しいか。

レジスタンス

- ※ 8414.70 転換線位置
- ※ 8578.50 7月1日高値
- ※ 8745.50 6月15日高値

サポート

- ※ 8250.9 6月25日安値
- ※ 8128.6 「雲」下限
- ※ 7967.8 6470.11~8875.66 における FIBO38.2%位置

トレーディング・アイディア

- ※ ショート@8414 ブレイクの失敗
- ※ ショート@8250 の割り込み
- ※ ショート@8128 の割り込み
- ※ ロング@8070 サポートの確認
- ※ ロング@7968 サポートの確認

NAS100 日足



今週 NAS100 は弱含みの公算。先週末の大幅下落は、6月10日高値からの調整がなお継続中、といった可能性を示唆、3月下旬以来、9日 EMA と 21日 EMA のデッドクロスが形成すれば、4月安値から5月安値を連結するサポートラインを割り込む可能性を生じる。

一方、ADX とボリンジャーバンドの組み合わせはなお保ちあい相場の継続を示し、3月17日以来サポート役割を果たしていた55日 EMA 線もボリンジャーバンドの下限と合致し、下放れしようとする値動きを牽制してもおかしくない。

そうであれば、RSI (14) が先週から示してきた「リバーサル」シグナルは依然有効で、MACD の潜在なる強気ダイバージェンスの発生とともに、下値余地を限定しよう。

逆に、終値を以って1412.99 (6月23日安値) を割り込めば、トレンドの進行が確認され、下落モメンタムの加速も必死で、7月一杯まで下値打診を続くかも。

レジスタンス

- ※ 1462.30 9日 EMA
- ※ 1497.45 7月1日高値
- ※ 1517.30 6月10日高値

サポート

- ※ 1425.39 55日 EMA
- ※ 1412.99 6月23日安値
- ※ 1388.75 5月28日安値

トレーディング・アイディア

- ※ ショート@1462.30 ブレイクの失敗
- ※ ロング@1425.40 サポートの確認
- ※ ロング@1413 サポートの確認
- ※ ショート@1413 の割り込み
- ※ ショート@1388 の割り込み

CFDブルベアスタンス

2009年7月6日

SP500 日足



今週 SP500 は弱含みの公算。先週末の大幅下落は、6月5日高値からの調整がなお継続していることを示唆できではなく、日足における「三尊型」の可能性も強化させた。

もっとも、多くの指標が、弱気シグナルに転じておるが、売られ過ぎの領域にはまだ達していない。オプション市場のプット/コールラインは売られすぎの領域から反発し、最低でも950 レベルを試すことを先週にて示唆されていたが、その前提となる 930 を超える蓋然性が消滅され、一転ベア志向を強めた。

足元では、各指標の状況に鑑み、必ずしもベアトレンドを志向しない側面も強い。従って、下値余地を拓くには、875 を割り込む必要があり、下落モメンタムの加速を引き起すポイントであろう。

この場合、840 の下値試しも予想され、さらに下落を続ける場合、800 心理関門まで到達してもおかしくない。同ターゲットはすでに前記「三尊型」のターゲットを超えており、今月にて実現されるかも。930 の回復なしでは強気なしか。

レジスタンス

- ※ 910.76 9日 EMA
 - ※ 931.80 7月1日高値
 - ※ 945.77 ボリンジャーバンド上限
- ### サポート

- ※ 888.18 6月23日安値
- ※ 877.70 5月26日安値
- ※ 845.65 665.90~957.45 における FIBO38.2%位置

トレーディング・アイディア

- ※ ロング@910.76 ブレイクの成功
- ※ ロング@931.80 ブレイクの成功
- ※ ショート@888.18 の割り込み
- ※ ショート@877.70 の割り込み
- ※ ロング@840 サポートの確認

DAX 日足



今週 DAX は弱含みの公算。先週末の大幅下落は、6月5日高値からの調整がなお継続していることを示唆できではなく、日足における「三尊型」の可能性も強化させた。

もともと、足元では、低下傾向を続く 200 日線が一時サポートになる公算もあるが、「三尊型」が示す下放れの蓋然性に鑑み、早晩下値更新し、一段と調整的な値動きを深めよう。

半面、RSI (14) では、5 月における調整的な値動きに対応する位置と比較すれば、強気リバーサルシグナルの発生も鮮明に捉える。が 3 月安値に対応するレベルに抑えられ、モメンタムの強化には至らない様子。従って、下値更新する前に、幾分切り返しの余地もありそうだ。586.63~5176.33 における 50%FIBO 位置も目下の値段をサポートする可能性があり、RSI とともに週前半におけるたもち合いを示唆。が、戻りがあれば、むしろ売り好機とも言え、再び見切り売りに晒されるだろう。

レジスタンス

- ※ 4966.38 6月8日安値
- ※ 5042.88 6月12日安値
- ※ 5161.58 6月5日高値

サポート

- ※ 4668.23 6月23日安値
- ※ 4652.33 5月14日安値
- ※ 4381.48 3586.63~5176.33 における 50%FIBO 位置

トレーディング・アイディア

- ※ ショート@4900 ブレイクの失敗
- ※ ショート@4670 の割り込み
- ※ ショート@4668 の割り込み
- ※ ショート@4652 の割り込み
- ※ ロング@4381 サポートの確認